

「eReadingシステム」とは？

書籍の本文中に登場する単語やキーワードについての情報を、書籍を閲覧しながら同時に表示することができるシステムです。



本文ビューアー
「わたしたちの信州学」の本文が表示されます。

サイドノート
本文に出現する単語についての情報が、自動脚注表示機能により表示されます。

A ページ移動
三角のボタンでページを移動できます。

B 本文ビューアー 操作ボタン

2~3/66

ページ数の拡大・縮小
-でページを縮小すると、最大で16ページを同時に表示できます。また、+・-・=で、表示ページ数を調整したり、ページサイズを拡大・縮小することができます。

ページ移動
三角のボタンでページを移動できます。

C メニューボタン
eReadingの閲覧に関するメニューが表示されます。詳細は「各メニューの詳細説明」ページをご覧ください。

① 目次 & 検索	② 索引	わたしたちの信州学 長野県教育委員会	③ ヘルプ	④ ポータル・トップ	⑤ 設定
-----------	------	-----------------------	-------	------------	------

① 目次 & 検索
書籍の目次から各ページに移動することができます。また、ワードを入力して全文から記載のページを検索することもできます。

② 索引
エンティティ・リンクング*により自動生成された索引が表示されます。

③ ヘルプ
eReadingシステムのヘルプページを表示します。

④ ポータル・トップ
ポータルサイト「信州ナレッジスクエア」へ移動します。

⑤ 設定
閲覧ビューアーの表示設定ができます。

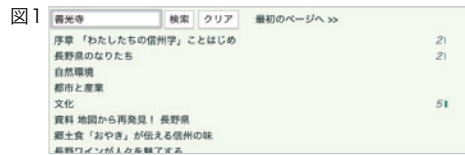
Tips*

エンティティ・リンクング (Entity linking) とは？
テキスト中のキーワード (固有表現) を、Wikipediaなどの知識ベースに結びつけて処理する自然言語処理の技術です。

① 目次 & 検索

検索フォームに探したいワードを入力し検索ボタンを押すと、目次の右側に検索結果が件数で表示されます。

例として「善光寺」と検索すると、図1のように検索結果が表示されます。目次から本文ビューアーを開くと、図2のように、検索した単語に目印が表示されます。



② 索引

自動索引生成機能により、テキスト化した文章を解析し統計的な処理を施すことで、ある単語やキーワードが「どこに」「どのくらいの頻度」で出現するかを図3のように一覧表示することができます。

自動生成された索引は頻出順や五十音順に並べ替えができます。

各索引表示からは、直接Wikipedia日本語を開くことができます。目次にはその単語が記載されている件数が表示され、クリックし該当する目次を開くことができます。(参照: 図4)

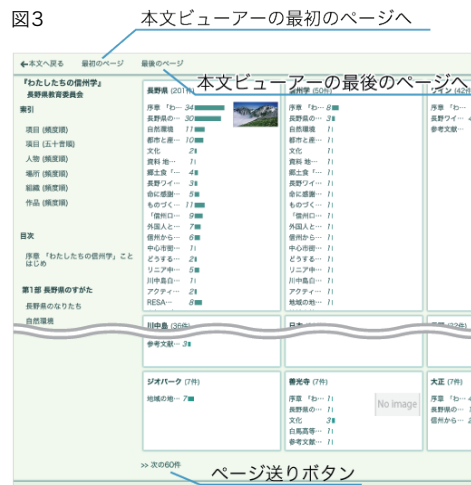
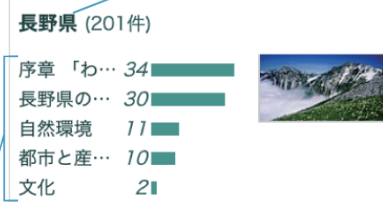


図4 クリックでWikipediaを表示



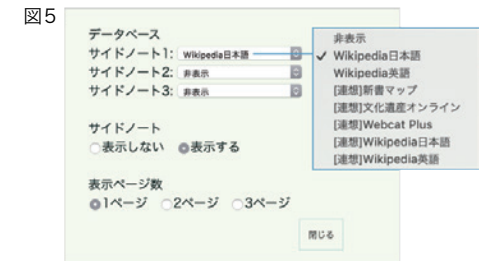
クリックで該当ページの本文ビューアーを表示

⑤ 設定

データベース*
サイドノートの自動脚注表示機能が元にする情報源を最大3種類まで選択できます。(参照: 図5、図6)

サイドノート
本文ビューアーの両サイドに自動脚注表示機能を表示するか選択できます。

表示ページ
本文ビューアーにデフォルトで表示するページ数を選択できます。画面サイズなどにより、サイドノートが正しく表示されない場合は、表示ページ数を「1ページ」にしご覧ください。



Tips*

参照データベースについて

- Wikipedia 日本語** : 本文に対して「フリー百科事典 Wikipedia 日本語版」を使ってエンティティ・リンキング
- Wikipedia 英語** : Wikipedia 日本語版を用いたエンティティ・リンキングに対して、言語間リンクにより「フリー百科事典 Wikipedia 英語版」を表示 (英語版がない項目はスキップ)
- [連想] 新書マップ** : 表示しているページの本文全てを使って「書籍検索サイト 新書マップ」を連想検索し関連書籍を抽出
- [連想] 文化遺産オンライン** : 表示しているページの本文全てを使って文化庁運営の文化遺産ポータルサイト「文化遺産オンライン」を連想検索し関連情報を抽出
- [連想] Webcat Plus** : 表示しているページの本文全てを使って国立情報学研究所 (NII) 提供の情報サービス「Webcat Plus」を連想検索し関連情報を抽出
- [連想] Wikipedia 日本語** : 表示しているページの本文全てを使って「フリー百科事典 Wikipedia 日本語版」を連想検索し関連情報を抽出
- [連想] Wikipedia 英語** : 表示しているページの本文全てを使って「フリー百科事典 Wikipedia 日本語版」を連想検索し関連情報を抽出、言語間リンクにより「フリー百科事典 Wikipedia 英語版」を表示 (英語版がない項目はスキップ)